

2018年度 傾斜的研究費（全学分）上位科研費申請支援枠 研究報告書

【研究費区分】：上位科研費申請支援

【研究代表者所属】：都市環境学部

【研究代表者氏名】：鈴木毅彦

【研究代表者氏名フリガナ】：スズキタケヒコ

【研究代表者職】：教授

【研究分担者（所属,氏名,職）】

- ・都市環境科学研究科地理環境学域，白井正明，准教授
- ・都市環境科学研究科地理環境学域，中山大地，助教
- ・都市環境科学研究科地理環境学域，石村大輔，助教
- ・都市環境科学研究科都市基盤学域，石倉智樹，准教授
- ・鹿児島大学法文教育学域法文学系，森脇広，名誉教授
- ・鹿児島大学法文教育学域法文学系，吉田明弘，准教授
- ・茨城大学理学部，小荒井衛，教授
- ・千葉科学大学危機管理学部，植木岳雪，教授
- ・立正大学地球環境科学部地理学会，宇津川喬子，助教
- ・山梨県富士山科学研究所，西澤文勝，研究員

【研究課題名】：極低頻度巨大噴火がもたらす自然環境と人間社会へのインパクトに関する研究

【研究実績の概要（200字程度で記入。図，グラフ等の使用も可。）】

・極低頻度巨大噴火の実態を明らかにするため，約200万年前の比較的近接した時代に東北北部で発生した，2回の巨大噴火の発生間隔を詳細に検討した．1回目の噴火年代は2Ma（百万年）であることは既知であったが，2回目の噴火年代が 2.03 ± 0.07 Maであることをはじめて明らかにした．測定誤差を考慮しても両噴火の間隔は5万年以内と考えられ，このような巨大噴火が短期間で連続して発生する可能性を明らかにした．

【科学研究費補助金への応募状況，採択状況】

・基盤研究（A）「極低頻度巨大噴火がもたらす自然環境と人間社会へのインパクトに関する研究」，研究代表者：鈴木毅彦，不採択．

【国等の提案公募型研究費，企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】

・特定研究寄附金（応用アール・エム・エス株式会社）：「火山の噴火発生確率推定に係る火山噴火履歴調査手法の研究」，500千円
・受託研究（株式会社パスコ）：「湖雲寺跡遺跡の立地・地形に係る地質学的研究」，607千円